

はがの文芸

サークルなどで活躍されている皆さんの作品をご紹介します。

短歌

彼岸花山の斜面を染めあげて
かすかに響くSの汽笛

佐山 美代子(下高根沢)

葛の葉は空家の屋根へとからまりて
紫の花初秋に揺らす

岡田 ツヤ子(西水沼)

刈り入れの後にひこばえ芽吹きいて
地に根付くものみな生きており

鈴木 みき(東高橋)

長雨にとまどいつつも育ち行く
なすは紫紺の色鮮やかに

山本 妙子(上延生)

俳句

冬立つや収穫急ぐ野菜畑

大村 かし子(下高根沢)

行く秋の富士を眺むる親子かな

北井 茂子(東高橋)

冬すみれ庭の樹本の葉をのせて

河上 洋子(祖母井)

池一面紅葉映せる武家屋敷

見目 トキ子(東高橋)

川柳

リラックスタイプ好きな頃でもうたいます

大島 文子(西水沼)

そうだよねりラックスにはロマンの湯

岩村 誠(稲毛田)

仕事を終え吾が家に着いて背を伸ばし

川田 紀男(東水沼)

紅葉に見とれしばらく足を止め

増淵 アサ(下高根沢)

芳賀町人発見!



SUZUKI FARM tochigi 代表
鈴木 俊喜さん (32歳・上稲毛田)

東京で美容師、飲食店勤務を経て、平成28年に芳賀町に戻り、現在は梨やさまざまな野菜を作り若手農業者として奮闘している鈴木さん。

飲食店勤務時代から考えていた「食の安全性」を追求し、生産者の顔が分かる農作物を作ることの魅力を感じ、農家に転職しました。慣れない農業で苦労することも多かったそうです。日本野菜だけではなく、西洋野菜や中国野菜などたくさんの種類の野菜を完全無農薬を目指して作っています。土壌の特性を知るために、肥料としての堆肥や石灰の量を計算したり、防除のためにビールやお酢を試してみたりと試行錯誤をしたそうです。今では、道の駅が直売所などにも出荷するようになりました。また東京で働いていた時代の人脈を生かし、自社である「SUZUKI FARM tochigi」の名刺やパンフレットを親交のあるデザイナーに依頼して作成したり、インスタグラムやフェイスブックなどのSNSを活用した販売手法を取り入れたりして、首都圏での顧客も増やしています。

「若手農業者が入ってきやすい芳賀町であってほしい」と話す鈴木さん。「まずは自分の目で見て、納得のいった野菜や果物を顧客の元に届ける。将来的には自分らしいスタイルでアレンジを加えていきたい」と力強く話してくださいました。これからも目標に向かって頑張ってください。



▲名刺と会社のパンフレット



▲鈴木さんのInstagram

わが家のオンリーワン

あなたのかわいいペットを紹介します。



きなこちゃん(MIX、3歳、メス)

小堀 倫弘さん(芳志戸)

きなこちゃんは、マルチーズとポメラニアンの子犬です。人が大好きで、初めての人も駆け寄ってきます！今はダイエット中ですが、食いしん坊の女の子です！

●応募方法 情報広報係へご連絡ください。
●必要事項 動物:名前・動物の種類名(例…柴犬、三毛猫)・性別・飼い主:氏名(フルネーム)・住所(大字のみ掲載します)・電話番号(掲載はしません。掲載事項に関して確認が必要な場合、係からご連絡します)

企画課情報広報係 ☎028(677)6099

あなたの声を聞かせてね！ お便り待ってます！

●身近な出来事や町に関する要望・意見

高松イクさんからの投稿

10月10日(火)22人が参加し、芳賀町文化協会(駿河会長)による研修会が実行されました。行き先は、天鷹酒造・ながわ水遊園・阿相りんご園・竜門の滝などで、天候に恵まれゆつたりとしたお出かけ日和の1日でした。

町にはたくさんの講座があります。日ごろの忙しさを忘れ趣味を生かして仲間と一緒に活動することで、楽しい1日を送ることができると思います。

「身支度を調べ今日も出掛ける日」

しあわせグルメ 佐藤和子さん(東水沼)おすすめ♪ 古賀洋菓子店「にっこりジェラート」



▲(左から)チョコレート、ピスタチオ、梨(にっこり)

芳賀町産の梨「にっこり」を使用したジェラートが販売されています。にっこり本来の優しい甘さにやみつきです！クリスマスケーキの予約も始まっていますよ♪

<Data>
芳賀町下高根沢3942-46
☎028(677)3412
10:00~17:30(日曜)月曜日休



右上/早月さん(稲毛田)

左上/高松イクさん(下高根沢)

左下/鈴木モコさん(西高橋)

